

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

R6年 4月 1日

都道府県知事 殿

病院名 社会福祉法人<sup>恩賜</sup>済生会西条病院  
開設者 社会福祉法人<sup>恩賜</sup>済生会支部愛媛県済生会

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、**1.** 研修プログラムの変更、**2.** 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

**1.** 基幹型臨床研修病院 **2.** 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号1から27までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から38までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 031996 臨床研修病院の名称： 済生会西条病院

記入日：西暦 年 月 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	<h2 style="margin: 0;">031996</h2>	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 済生会西条病院群 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ タカオカ マユミ 氏名(姓) (名) 高岡 真弓	役職 係長 (内線 9930 ) (直通電話 (0897) 55 — 5463 ) e-mail : saijo-rin@saiseikaisaijo.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ シャカイフクシホウジンオンシザイダンサイセイカイサイジョウビョウイン 社会福祉法人 <sup>思</sup> 済生会西条病院 <sup>財</sup>		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">7</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">7</span> ( 愛媛 都・道・府・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 0 2px;">県</span> ) 西条市朔日市269番地1 電話：(0897) 55—5100 F A X：(0897) 55—6766 二次医療圏 の名称：新居浜・西条地区二次医療圏		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ シャカイフクシホウジンオンシザイダンサイセイカイシブエヒメケンサイセイカイ 社会福祉法人 <sup>思</sup> 済生会支部愛媛県済生会 <sup>財</sup>		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">7</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">8</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">6</span> ( 愛媛 都・道・府・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 0 2px;">県</span> ) 松山市山西町997番地1 電話：(089) 952—0332 F A X：(089) 952—0352		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ オカダ 姓 岡田	シンイチ 名 真一	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http:// www.saiseikaisaijo.jp		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 031996

臨床研修病院の名称： 済生会西条病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 28名、非常勤（常勤換算）： 2.3名 計（常勤換算）： 30.3名、医療法による医師の標準員数： 15.56名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2023年 2月 1日、告示番号：第 28-11号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 ( 33.63 ) m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 10,697 件（うち診療時間外： 1,293 件） 1日平均件数： 29.2 件（うち診療時間外： 3.5 件） 救急車取扱件数： 1,244 件（うち診療時間外： 659 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 1名、看護師及び准看護師： 1名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1) 有 0. 無) 外科系 (1) 有 0. 無) 小児科 (1. 有 (0) 無) その他 ( )
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 150、2. 精神： _____床、3. 感染症： 2床 4. 結核： _____床、5. 療養： _____床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度のの前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度のの前年度分、研修医の数は届出年度のの次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 13.3 日、2. 精神： _____日、3. 感染症： 17.0 日 4. 結核： _____日、5. 療養： _____日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： _____件、異常分娩件数： _____件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 0回、今年度見込： 1回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 1件、今年度見込： 1件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1) 有 0. 無 ( _____ ) 大学、( _____ ) 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	(1) 有（単身用： 4戸、世帯用： _____戸） 0. 無（住宅手当： _____円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	(1) 有 ( 1室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	( 66.0 ) m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 1,458冊、国外図書： 5冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 120種類、国外雑誌： 14種類
	図書室の利用可能時間	0:00 ~ 24:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース (1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1. 有 (0) 無)、その他 ( ) 利用可能時間 ( 00:00 ~ 24:00 ) 24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1. 有 (0) 無)、その他 ( )	

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号：

臨床研修病院の名称：

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	ツガナ オギノ 氏名(姓) 荻野	トモコ (名) 智子	
	診療に関する諸記録の管理方法	① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に: )		
	診療録の保存期間	( 10 ) 年間保存		
	診療録の保存方法	① 文書 ② 電子媒体 その他(具体的に: )		
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	① 有 ( 1 名) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>		
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 ( 1 ) 名、兼任 ( 7 ) 名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： ツガナ アソ 氏名(姓) 阿蘇		キョウコ (名) 京子
		役職 医療安全管理者		
		対応時間 ( 8 : 30 ~ 17 : 00 ) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： ① 有 0. 無		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① 有 0. 無 指針の主な内容：医療事故・紛争の防止等、適正な業務が実施されるよう医療安全体制を確立する。		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 ( 12 ) 回 活動の主な内容：インシデントレポート及びアクシデントレポートを検討し、医療事故防止対策等を職員に周知徹底を図っている。		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 ( 2 ) 回 研修の主な内容：医療安全に関する基本的な知識、医療安全情報や医療事故の再発防止に向けた提言より院内でも発生しそうな事例について			
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容：患者さんからの要望事項を広く伺うために、各部署にご意見箱を設置し、問題点の早期把握、事故防止の改善策に役立っている。			
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了： 0 名 中断： 0 名			
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		前々年度	前年度	
	1 年	0	0	
	2 年	12	3	
		当該年度	11	
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 ( 152 ) 床 ÷ 10 = ( 15.2 ) 名		
	患者数から算出	年間入院患者数 ( 2,762 ) 人 ÷ 100 = ( 27.62 ) 名		
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> <small>精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</small>	1. 精神保健福祉士： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名)			
	2. 作業療法士： 9 名 (常勤： 9 名、非常勤： 0 名)			
	3. 臨床心理技術者： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名)			
	9. その他の精神科技術職員： 0 名 (常勤： 名、非常勤： 名)			
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>	1. 有 (評価実施機関名： ( 年 月 日) ) ① 無 <small>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</small> 受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無			

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： \_\_\_\_\_

臨床研修病院の名称： \_\_\_\_\_

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※																
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。															
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1 年次研修医 ( 0 ) 名 2 年次研修医 ( 0 ) 名															
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 ( 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ) 有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 時 分 ~ 時 分 ) 病児保育 ( 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ) 夜間保育 ( 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ( 1. 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 )															
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ) その他の補助 ( 具体的に : _____ )															
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無 ) 授乳スペース <input checked="" type="radio"/> 有 0. 無 )															
	その他育児関連施設・取組があれば記入 ( 院外との連携した取組もあれば記入 )		( _____ )															
	研修医のライフイベントの相談窓口		1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無 窓口の名称がある場合記入 ( _____ ) 窓口の専任担当 1. 有 ( _____ 名 ) 0. 無															
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 ( _____ ) 窓口の専任担当 <input checked="" type="radio"/> 有 ( 6 名 ) 0. 無															
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。																		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称： いしづちプログラム 2025 プログラム番号： _____															
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1 年次： 2 名、2 年次： 2 名															
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">フリガナ トリス</td> <td style="width: 50%;">マサモト</td> </tr> <tr> <td>氏名 ( 姓 )</td> <td>( 名 )</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鳥巢</td> <td style="text-align: center;">真幹</td> </tr> <tr> <td>所属 医局</td> <td>役職 内科部長</td> </tr> <tr> <td colspan="2">電話：(0897) 55 — 5100 F A X：(08897) 55 — 6766</td> </tr> <tr> <td colspan="2">e-mail：saijo-rin@saiseikaisaijo.jp</td> </tr> <tr> <td colspan="2">URL：http://www.saiseikaisaijo.jp</td> </tr> </table>	フリガナ トリス	マサモト	氏名 ( 姓 )	( 名 )	鳥巢	真幹	所属 医局	役職 内科部長	電話：(0897) 55 — 5100 F A X：(08897) 55 — 6766		e-mail：saijo-rin@saiseikaisaijo.jp		URL：http://www.saiseikaisaijo.jp		
	フリガナ トリス	マサモト																
氏名 ( 姓 )	( 名 )																	
鳥巢	真幹																	
所属 医局	役職 内科部長																	
電話：(0897) 55 — 5100 F A X：(08897) 55 — 6766																		
e-mail：saijo-rin@saiseikaisaijo.jp																		
URL：http://www.saiseikaisaijo.jp																		
資料請求先		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>住所</td> <td>〒 <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="3"/> — <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="7"/> ( 愛媛 都・道・府・<input checked="" type="radio"/> 県 )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>西条市朔日市 2 6 9 — 1</td> </tr> <tr> <td>担当部門</td> <td>担当者氏名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>フリガナ タカオカ マユミ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>姓 高岡 名 真弓</td> </tr> <tr> <td colspan="2">電話：(0897) 55 — 5100 F A X：(0897) 55 — 6766</td> </tr> <tr> <td colspan="2">e-mail：saijo-rin@saiseikaisaijo.jp</td> </tr> <tr> <td colspan="2">URL：http://www.saiseikaisaijo.jp</td> </tr> </table>	住所	〒 <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="3"/> — <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="7"/> ( 愛媛 都・道・府・ <input checked="" type="radio"/> 県 )		西条市朔日市 2 6 9 — 1	担当部門	担当者氏名		フリガナ タカオカ マユミ		姓 高岡 名 真弓	電話：(0897) 55 — 5100 F A X：(0897) 55 — 6766		e-mail：saijo-rin@saiseikaisaijo.jp		URL：http://www.saiseikaisaijo.jp	
住所	〒 <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="3"/> — <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="7"/> ( 愛媛 都・道・府・ <input checked="" type="radio"/> 県 )																	
	西条市朔日市 2 6 9 — 1																	
担当部門	担当者氏名																	
	フリガナ タカオカ マユミ																	
	姓 高岡 名 真弓																	
電話：(0897) 55 — 5100 F A X：(0897) 55 — 6766																		
e-mail：saijo-rin@saiseikaisaijo.jp																		
URL：http://www.saiseikaisaijo.jp																		



## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： \_\_\_\_\_

臨床研修病院の名称： \_\_\_\_\_

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） (基幹型・協力型記入)	健康管理	健康診断（年 2 回） その他（具体的に _____）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 <input checked="" type="radio"/> 1. する 0. しない 個人加入（1. 強制 <input checked="" type="radio"/> 0. 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： <input checked="" type="radio"/> 1. 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無： <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ _____ 時 分 ~ _____ 時 分）
		病児保育（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無） 夜間保育（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無）
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（1. 可 <input checked="" type="radio"/> 0. 不可）
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無）
		その他の補助（具体的に： _____）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 授乳スペース <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ _____ ）
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ _____ ） 窓口の専任担当 1. 有（ _____ 名） 0. 無
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ _____ ） 窓口の専任担当 <input checked="" type="radio"/> 1. 有（ _____ 名） 0. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	<input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。

12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

(1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

(2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。

(3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

(4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

(5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること)。

※ 算出式

$$\left[ \frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

(6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない)。

15 「救急医療の提供の実績」欄について

(1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。

(2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。

(3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。

(4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

(5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

(6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。

(7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- （1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
  - （2）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
  - （3）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （1）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
  - （2）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （1）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
  - （2）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （1）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
  - （2）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （1）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
  - （2）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
  - （3）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （1）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
  - （2）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - （3）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
  - （4）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（1）～（3）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
  - （5）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
  - （6）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数 1 回）

病院施設番号： 031996

臨床研修病院の名称： 済生会西条病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ オカダ	シンイチ	済生会西条病院	院長	研修管理委員長 研修実施責任者
姓 岡田	名 真一			
フリガナ ナガロ	タクミ	済生会西条病院	センター相談役	研修実施責任者
姓 長櫓	名 巧			
フリガナ ジョウコウ	コウジ	済生会西条病院	副院長	研修実施責任者
姓 上甲	名 康二			
フリガナ イシイ	ヒロシ	済生会西条病院	副院長	研修実施責任者
姓 石井	名 博			
フリガナ トリス	マサモト	済生会西条病院	内科部長	プログラム責任者 研修実施責任者
姓 鳥巢	名 真幹			
フリガナ コバシ	ケンタ	済生会西条病院	外科部長	研修実施責任者 副プログラム責任者
姓 小橋	名 研太			
フリガナ ウラモト	ヒロシ	済生会西条病院	脳神経外科部長	研修実施責任者
姓 浦元	名 広			
フリガナ クマギ	テル	愛媛大学医学部附属病院	総合臨床研修センター長 教授	研修実施責任者
姓 熊木	名 天児			
フリガナ ササキ	アキラ	西条道前病院	理事長	研修実施責任者
姓 佐々木	名 朗			
フリガナ イトウ	マコト	伊藤医院	院長	研修実施責任者
姓 伊藤	名 誠			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数 1回）

(No. 2 )

病院施設番号： 031996

臨床研修病院の名称： 済生会西条病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ミヤオカ	ヒロアキ	済生会松山病院	院長	研修実施責任者
姓 宮岡	名 弘明			
フリガナ ムラカミ	ヒデヒロ	済生会松山病院	副院長 内視鏡センター長	研修実施責任者
姓 村上	名 英広			
フリガナ マツノ	ツヨシ	済生会今治病院	院長	研修実施責任者
姓 松野	名 剛			
フリガナ ニシザキ	オサム	済生会今治病院	副院長	研修実施責任者
姓 西崎	名 統			
フリガナ モトキ	タカユキ	岡山済生会総合病院	副院長	研修実施責任者
姓 元木	名 崇之			
フリガナ スギヤマ	シンイチ	済生会熊本病院	総合診療科副部長兼 医師研修室長	研修実施責任者
姓 杉山	名 真一			
フリガナ サカタ	ケイジ	サカタ産婦人科	院長	研修実施責任者
姓 坂田	名 圭司			
フリガナ コンノ	トシノブ	済生会小田診療所	施設長	研修実施責任者
姓 今野	名 敏伸			
フリガナ ツネミツ	ケンスケ	老人保健施設いしづち苑	苑長	研修実施責任者
姓 常光	名 謙輔			
フリガナ タガシラ	ミエコ	西条訪問看護ステーション	管理者	研修実施責任者
姓 田頭	名 三枝子			

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 5 年度開催回数 1 回）

(No. 3 )

病院施設番号： 031996

臨床研修病院の名称： 済生会西条病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ タケガタ	セイジ	愛媛県西条保健所	所長	外部委員
姓 武方	名 誠二			
フリガナ カリヤマ	ケンジ	かりやま整形外科	院長	外部委員
姓 狩山	名 憲二			
フリガナ ホシカ	エイジ		西条市 元教育長	外部委員
姓 星加	名 映二			
フリガナ ヤノ	ヤストシ	済生会西条病院	事務長	委員
姓 矢野	名 泰利			
フリガナ トヨタ	コウジ	西条特別養護老人ホーム	施設長	委員
姓 豊田	姓 晃司			
フリガナ ダイドウ	ミユキ	済生会西条病院	看護部長	委員
姓 大道	名 美由紀			
フリガナ イシカワ	サダトシ	済生会西条病院	検査技師長	委員
姓 石川	名 定利			
フリガナ タカノ	ショウジ	済生会西条病院	放射線技師長	委員
姓 高野	名 正路			
フリガナ ワタナベ	トシロウ	済生会西条病院	リハビリ室長	委員
姓 渡部	名 俊郎			
フリガナ クロコ	ジュンコ	済生会西条病院	栄養部科長	委員
姓 黒子	名 純子			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 5 年度開催回数 1 回）

(No. 4 )

病院施設番号： 031996

臨床研修病院の名称： 済生会西条病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ タナカ	アキヒロ	済生会西条病院	薬局長	委員
姓 田中	名 亮裕			
フリガナ クワハラ	ショウジ	済生会西条病院	主任臨床工学技士	委員
姓 桑原	名 将司			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：済生会西条病院 （愛媛県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
愛媛県	新居浜・西条	済生会西条病院 (病院施設番号: 031996)		愛媛県	松山		愛媛大学医学部附属病院 (病院施設番号: 030676)		愛媛県	新居浜・西条		西条老人保健施設いしづち苑 (病院施設番号: 066907)		いしづちプログラム 2025	2
				愛媛県	今治		済生会今治病院 (病院施設番号: 030976)		愛媛県	八幡浜・大洲		済生会小田診療所 (病院施設番号: 086326)			
				愛媛県	新居浜・西条		西条道前病院 (病院施設番号: 031995)		愛媛県	新居浜・西条		伊藤医院 (病院施設番号: )			
				愛媛県	松山		済生会松山病院 (病院施設番号: 032269)		愛媛県	新居浜・西条		済生会西条特別養護老人ホーム (病院施設番号: )			
				岡山県	県南東部		岡山済生会総合病院 (病院施設番号: 030613)		愛媛県	新居浜・西条		済生会西条訪問看護ステーション (病院施設番号: )			
				熊本県	熊本・上益城	追加	済生会熊本病院 (病院施設番号: )	○	愛媛県	新居浜・西条	追加	サカタ産婦人科 (病院施設番号: )	○		
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

愛媛大学医学部から多数の医師を派遣していただいているため。  
 済生会松山病院と済生会今治病院と済生会小田診療所は当院と同じ愛媛県済生会のグループで合同の研修会や行事も行い連携をとっているため。  
 岡山総合病院は、共に岡山大学外科の同門であり、手術指導などで緊密な交流を持っており、済生会熊本病院と共に当院と同じ済生会グループで合同セミナーや指導医講習会などを通じて連携をとっているため。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

## 12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：済生会西条病院
病院施設番号：031996

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修科目の診療科				合 計
							産科	婦人科		その他の研修を行う診療科				
										整形外科	眼科	脳神経外科	泌尿器科	
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	1,226		710							383	328	78	37	2,762
年間新外来患者数	9,146		1,321							1,170	560	255	200	12,652
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	156.4 (266)		109.5 (266)							35.1 (266)	27.1 (266)	10.2 (266)	11.9 (266)	
平均在院日数	10.8		20.9							23.8	2.1	56.9	4.5	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	9 (6)		5 (3)	1 (1)						3 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	22 (14)

※ 「年間入院患者実数」とは、当該年度の前々年度の繰越患者数に当該年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、当該年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10.の救急医療の実績の前年度の件数及び14.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 5 年度分)		臨床研修病院の名称：済生会西条病院												
		病院施設番号：031996												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
愛媛大学医学部附属病院	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0
西条市立周桑病院	地域医療	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域医療合計	0	0	1	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0
済生会松山病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
済生会今治病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	選択科目合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 6 年度分)		臨床研修病院の名称：済生会西条病院													
		病院施設番号：031996													
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週	
済生会西条病院	内科	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
	内科合計	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
済生会西条病院	救急部門	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	
	救急部門合計	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	
済生会西条病院	外科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	外科合計	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
愛媛大学医学部附属病院	地域医療	0	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	
西条市立周桑病院	地域医療	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地域医療合計	0	2	3	3	2	2	2	1	1	1	1	0	0	
済生会松山病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
済生会今治病院		0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	
	選択科目合計	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 7 年度分)		臨床研修病院の名称：済生会西条病院												
		病院施設番号：031996												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
済生会西条病院	内科	2	2	2	2	0	0	0	0	0	2	2	2	2
	内科合計	2	2	2	2	0	0	0	0	0	2	2	2	2
済生会西条病院	救急部門	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0
	救急部門合計	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0
済生会西条病院	外科	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
	外科合計	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
愛媛大学医学部附属病院	地域医療	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
西条市立周桑病院	地域医療	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域医療合計	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会西条病院		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会松山病院		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会今治病院		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	選択科目合計	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 8 年度分)		臨床研修病院の名称：済生会西条病院												
		病院施設番号：031996												
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
済生会西条病院	内科	2	2	2	2	0	0	0	0	0	2	2	2	2
	内科合計	2	2	2	2	0	0	0	0	0	2	2	2	2
済生会西条病院	救急部門	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0
	救急部門合計	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0
済生会西条病院	外科	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
	外科合計	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
愛媛大学医学部附属病院	地域医療	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
西条市立周桑病院	地域医療	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域医療合計	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会西条病院		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
済生会松山病院		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会今治病院		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	選択科目合計	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

## 31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： \_\_\_\_\_

病院施設番号： 031996

臨床研修病院の名称： 済生会西条病院(031996)

臨床研修病院群番号： \_\_\_\_\_

臨床研修病院群名： 済生会西条病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	いしづちプログラム
2. 研修プログラムの特色	<p>地域に密着した中小規模病院の特殊性を生かし、日常頻繁に遭遇する病気に適切に対応できる基本的臨床能力を取得できるよう 1 次から 2.5 次救急までの地域救急医療、急性期疾患から終末期医療まで広い範囲の診療を経験することができる。</p> <p>研修管理部門として臨床研修センターおよび全医師が参加する臨床研修センター運営委員会を有し、各診療科のすべての責任者は卒後臨床研修指導医を取得しているため、責任を持った研修を受けることが可能である。</p> <p>以下、当院各診療科において経験可能な研修の特徴を示す。</p> <p>当院は西条医療圏の基幹病院において唯一緊急手術への対応が可能であり、外科・整形外科において救急疾患を中心とした豊富な手術症例を経験することができる。また、回復期リハビリ病棟・リハビリ科・MSW・外来研修と連携して急性期の後の回復期から退院後のフォローまで完結型の医療を経験することができる。</p> <p>内科部門においては専門性の高い消化器・循環器・糖尿病内分泌の診療から、初期研修に必要な多くの救急疾患・コモンディーズ・終末期医療まで経験できる。外来研修と並行研修を行い、自身が外来で診察した患者の入院加療、さらに退院後のフォローまで経験することができる。</p> <p>地域医療として、一般開業医と病院の医療連携や、過疎地域診療所・瀬戸内海巡回診療を通して、過疎地域・島嶼部の医療実態を経験することができる。</p> <p>その他、常勤医を有する病理診断科で臨床と有機的に連携した病理診断研修が可能であり、愛媛県警察西条署の警察嘱託医による検視・死体検案などの珍しい経験を積むことも可能である。</p> <p>全国組織である済生会のスケールメリットを生かし、愛媛県済生会で開催する研修医と指導医のレベルアップを目的として症例検討及び全国的に有名な指導医による特別講演を行っている「愛媛済生会病院研修医育成セミナー」および日本内科学会認定の救急講習会 JMECC である「愛媛県済生会研修医交流会」や、済生会今治病院で実施する「愛媛県緩和ケア研修会 PEACE」に参加できる。また、済生会学会に合わせて実施される 1 年目研修医全員を対象とした「初期研修医のための合同セミナー」に参加することにより、最先端の医療知識を習得することができる。</p>

<p>3. 臨床研修の目標の概要</p>	<p>①理念</p> <p>当院の理念である「済生会創立の救療済生の精神に基づき、地域の人々に質の高い、安全な、温かみのある保健・医療・福祉を提供し、地域医療に貢献する」の下、社会人としての規律を守り、地域医療に貢献する」の下、社会人としての規律を守り、医師として相応しい温かみのある人格を涵養し、将来の専門分野に関わらず医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ日常診察で頻繁に遭遇する病気・病態に適切に対応できるよう、プライマリケアを中心とした基本的診療能力を習得する。</p> <p>②基本方針</p> <p>医師は、病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識し、医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けなくてはならない。</p> <p>また、済生会病院である当院で勤務・研修する医師として、済生会創立の理念である救療済生の精神を理解し、これに基づいた地域の人々に質の高い、安全な、温かみのある保健・医療・福祉を提供できるよう努めなければならない。</p> <p>医師としての基盤形成の段階にある研修医は、基本的価値観を自らのものとし、医師として相応しい温かみのある人格を涵養し、将来の専門分野に関わらず医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ日常診察で頻繁に遭遇する病気・病態に適切に対応できるよう、プライマリケアを中心とした基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得しなければならない。</p>				
<p>4. 研修期間</p>	<p>( 2 ) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)</p>				
<p>備考</p>	<p>研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。各種認定指導医施設の指導を受けている。</p>				
<p>5. 臨床研修を行う分野</p>	<p>研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。</li> <li>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</li> <li>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</li> </ul>				
	<p>病院施設番号</p>	<p>病院又は施設の名称</p>	<p>研修期間</p>	<p>内一般外来</p>	
<p>(記入例) x x 科</p>	<p>1234567</p>	<p>〇〇 病院</p>	<p>〇週</p>	<p>〇週</p>	
<p>必修科目・分野</p>	<p>内科</p>	<p>031996</p>	<p>済生会西条病院</p>	<p>2 8 週</p>	<p>4 週</p>
	<p>救急部門</p>	<p>031996</p>	<p>済生会西条病院</p>	<p>1 2 週</p>	<p style="text-align: center;">/</p>
	<p>地域医療</p>	<p>086326</p>	<p>済生会小田診療所</p>	<p>4 週</p>	<p>一般外来 2.4 週</p>
			<p>伊藤医院</p>		<p>在宅診療 1.6 週</p>
	<p>外科</p>	<p>031996</p>	<p>済生会西条病院</p>	<p>8 週</p>	<p>週</p>
<p>小児科</p>	<p>030676</p>	<p>愛媛大学医学部附属病院</p>	<p>4 週</p>	<p>週</p>	

		030976	済生会今治病院	4週	週
	産婦人科	030676	愛媛大学医学部附属病院	4週	
			サカタ産婦人科	4週	
	精神科	031995	西条道前病院	4週	
	一般外来	031996	済生会西条病院	4週	
病院で 定めた 必修 科目	オリエンテーション	031996	済生会西条病院	2週	週
選択 科目	内科	031996	済生会西条病院	36週	
		030676	愛媛大学医学部附属病院		
		030976	済生会今治病院		
		032269	済生会松山病院		
		030613	岡山済生会総合病院		
	外科	031996	済生会西条病院		
		030676	愛媛大学医学部附属病院		
		030976	済生会今治病院		
		032269	済生会松山病院		
		030613	岡山済生会総合病院		
	整形外科	031996	済生会西条病院		
		030676	愛媛大学医学部附属病院		
		030976	済生会今治病院		
		032269	済生会松山病院		
		030613	岡山済生会総合病院		
	脳神経外科	031996	済生会西条病院		
		030676	愛媛大学医学部附属病院		
		030976	済生会今治病院		
		032269	済生会松山病院		
	眼科	031996	済生会西条病院		
		030676	愛媛大学医学部附属病院		
		032269	済生会松山病院		
	泌尿器科	031996	済生会西条病院		
		030676	愛媛大学医学部附属病院		
		030976	済生会今治病院		
		032269	済生会松山病院		
	放射線科	031996	済生会西条病院		
		030676	愛媛大学医学部附属病院		
		030976	済生会今治病院		

		032269	済生会松山病院
病理診断科		031996	済生会西条病院
		030676	愛媛大学医学部附属病院
精神科		030676	愛媛大学医学部附属病院
		031995	西条道前病院
循環器内科		030976	済生会今治病院
		032269	済生会松山病院
神経内科		032269	済生会松山病院
麻酔科		031996	済生会西条病院
		030676	愛媛大学医学部附属病院
		030976	済生会今治病院
		032269	済生会松山病院
小児科		030676	愛媛大学医学部附属病院
		030976	済生会今治病院
産婦人科		030676	愛媛大学医学部附属病院
			サカタ産婦人科
耳鼻咽喉科		030676	愛媛大学医学部附属病院
皮膚科		030676	愛媛大学医学部附属病院
		030976	済生会今治病院
救急科		030676	愛媛大学医学部附属病院
		030613	岡山済生会総合病院
心臓血管外科		030976	済生会今治病院
			済生会熊本病院
救急総合診療センター			済生会熊本病院
地域保健		066907	済生会西条老人保健施設 いしづち苑
			済生会西条 特別養護老人ホーム
			済生会西条 訪問看護ステーション

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低68週

臨床研修協力病院・・・最大16週 ※ただし協力病院での必須科目20週は除く

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大12週

研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修を並行研修で行う場合、残りの週数としてみなす休日・夜間の当直回数 約月2回  
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4週※但し、済生会西条病院又は愛媛大学医学部附属病院で行った場合に限る。

一般外来の研修を行う診療科・・・内科・外科・地域医療

※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 030996

臨床研修病院の名称： 済生会西条病院(031996)

は、既取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名： 済生会西条病院(031996)群

6. 研修スケジュール (一年次)・二年次：いずれかに○

プログラム番号

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
済生会西条病院 (031996)	オリエンテー ション	2 2												
済生会西条病院 (031996)	内科	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1	2 2	2 2	2 2	2 2	1 1	1 1
済生会西条病院 (031996)	外科	1 1	1 1	1 1	1 1								1 1	1 1
済生会西条病院 (031996)	救急部門			1 1	1 1	1 1	1 1	1 1		1 1	1 1	1 1	1 1	
愛媛大学医学部附属 病院 (030676)	麻酔科 (救急部門)									1 1	1 1	1 1		

\* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\* 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号：	臨床研修病院の名称：
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名：

6. 研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○） プログラム番号

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1 (No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
愛媛大学医学部附属 病院 (030676)	小児科		1 1 1 1 1 1 1 1											
済生会今治病院 (030976)	小児科		1 1 1 1 1 1 1 1											
愛媛大学医学部附属 病院 (030676)	産婦人科		1 1 1 1											
サカタ産婦人科	産婦人科		1 1 1 1											
西条道前病院 (031995)	精神科					1 1 1 1								
済生会西条病院 (031996)	内科 (選択科)					1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1
愛媛大学医学部附属 病院 (030676)	内科 (選択科)	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1
済生会今治病院 (030976)	内科 (選択科)	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1
済生会松山病院 (032269)	内科 (選択科)	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1
岡山済生会総合病院 (030613)	内科 (選択科)	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1

\* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。











プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 030996

臨床研修病院の名称：済生会西条病院(031996)

は、既取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：済生会西条病院(031996)群

6. 研修スケジュール (一年次・二年次、いずれかに○)

プログラム番号

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
済生会熊本病院	救急総合 診療センター													
済生会松山病院 (032269)	脳神経内 科 (選択科)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会小田診療所 (086326)	地域医療	2	2	2	2									
伊藤医院	地域医療	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会西条いしづち 苑(066907)	地域保健	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会西条特別養護 老人ホーム	地域保健	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会西条訪問看護 ステーション	地域保健	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

\*1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\*2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\*3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

## 33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:031996

臨床研修病院の名称:済生会西条病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
内科救急	岡田 眞一	済生会西条病院	院長	44	○	日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会認定専門医 日本消化器病学会認定専門医 日本消化器内視鏡学会認定専門医 日本医師会認定産業医 日本糖尿病学会認定専門医 インфекションコントロールドクター認定医 日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、指導医 日本医師会指導医のための教育ワークショップ受講	31996101	3.4
病理	植田 規史		センター顧問	53	○	日本病理学会認定病理専門医 日本臨床細胞学会認定専門医 日本医師会認定産業医 平成30年度愛媛大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医講習会修了	31996101	4
内科救急	上甲 康二		副院長	42	○	日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本肝臓学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 臨床研修プログラム責任者養成講習会終了証 愛媛大学臨床研修指導医講習会終了証 日本医療機能評価機構医療メディエーターB 臨床研究審査研修会受講証 松山赤十字病院緩和ケア研修会修了証 日本赤十字社医療安全管理者養成研修修了証 アルコール依存症の診断と治療に関するeランニング研修 愛媛大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医講習会 臨床研修プログラム責任者養成講習会修了証	31996101	4

## 33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:031996

臨床研修病院の名称:済生会西条病院  
別紙4  
(No.2)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
内科救急	大森 拓朗	済生会西条病院	内科統括部長	28	○	日本医師会認定産業医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会認定専門医 済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	31996101	4
内科救急	鳥巢 真幹		内科部長	25	○	日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医、指導医 日本内科学会認定内科医 日本糖尿病学会専門医、研修指導医 済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講 平成29年度プログラム責任者養成講習会修了	31996101	1.4
内科救急	山上 隆司		内科部長	23	○	日本肝臓学会肝臓専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	31996101	4
循環器内科救急	金子 伸吾		循環器科部長	21	○	日本循環器学会認定専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 日本内科学会認定医 済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	31996101	4
外科救急・麻酔	石井 博		副院長	37	○	日本外科学会専門医、指導医 日本消化器外科学会認定医 日本透析医学会専門医、指導医 日本医師会認定産業医 日本医師会認定健康スポーツ医 厚生省認定麻酔科標榜医 日本旅行医学会認定医 インфекションコントロールドクター認定医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 がん治療認定教育医 日本消化器外科学会がん外科治療認定医 日本臨床栄養代謝学会認定医 日本病院会指導医養成講習会受講	31996101	4

## 33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:031996

臨床研修病院の名称:済生会西条病院  
別紙4  
(No.3)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科 救急・麻酔	小橋 研太	済生会西条病院	外科部長	31	○	日本外科学会専門医、指導医 厚生省認定麻酔科標榜医 がん治療認定医教育医 がん治療認定医 日本消化器外科学会専門医、指導医 消化器がん外科治療認定医 日本臨床腫瘍学暫定指導医 日本病院会臨床研修指導医講習会受講認定医 令和5年度プログラム責任者養成講習会修了	31996101	2.4
外科 救急・麻酔	升田 智也		外科医長	13	○	日本外科学会専門医 日本がん治療認定医 済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	31996101	4
整形外科	相澤 淳一		整形外科部長	20	○	日本整形外科学会認定専門医 日本整形外科学会認定リハビリテーション医 令和4年度愛媛大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医講習会修了	31996101	4
麻酔科	長櫓 巧		センター相談役	49	○	日本麻酔科学会指導医、専門医 日本ペインクリニック学会専門医 平成30年度愛媛大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医講習会修了	31996101	4
脳神経外科	浦元 広		脳神経外科部長	32	○	日本脳神経外科学会専門医 済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	31996101	4
眼科	越智 理恵		眼科部長	22	○	日本眼科学会専門医 平成29年度愛媛大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医講習会修了	31996101	4
泌尿器科	高田 恵吉		泌尿器科部長	30	○	日本泌尿器科学会指導医、専門医 済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	31996101	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

## 33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:031996

臨床研修病院の名称:済生会西条病院  
別紙4  
(No.4)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

☒ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。